

# ひ ろ の

# 議 会 だ よ り

No.168

こども園  
発表会

練習の成果を存分に  
発揮し、カッコ可愛い  
ダンスや素晴らしい劇  
を披露してくれました。



二次元コードを読み  
込むと議会の情報を見  
ることができます。

P10

6人の議員が  
町政を問う  
(一般質問)

P6

委員会報告

P4

こんなことが  
決まりました

P2

町民と議員との  
意見交換会

は つ ぴ よ



町民に開かれた議会、町民参加を推進する議会を目指し、11月28日（金）18時よりひろの未来館、29日（土）10時より中央体育館において「町民と議員との意見交換会」を開催しました。

今回の意見交換は、気軽に発言できる環境づくりとして、総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会の2グループに分かれて行いました。

議会や町政に対し、様々な意見をいただくことができましたので、主な意見を紹介します。

## 11月28日（金）ひろの未来館（参加者6人）

### 総務文教常任委員会

#### ●各種計画等の理解促進について

町が策定する各種計画等について、内容や進捗状況を住民が理解できる環境を作ってほしい。

#### ●役場前交差点地下道の案内表示について

国道6号の役場前交差点周辺において、歩行者の危険な横断が見られることから、地下道の案内表示をしてほしい。

#### ●駅前交番の設置について

住民や学生、来訪者の安心感を高めるため、駅前に交番を設置してほしい。



意見交換の様子（総務文教常任委員会）



意見交換の様子（産業厚生常任委員会）

### 産業厚生常任委員会

#### ●工事の監督及び検査について

建退共の証紙が適切に使用されるように指導をしてほしい。

#### ●給食に係る地元産食材の調達方法について

希望する地元生産者が給食食材の供給に参画できるように、調達方法の仕組みを明確にしてほしい。

#### ●町の農政構想について

町の農政に関する全体的な構想を話し合う場を設けてほしい。

## 11月29日（土）中央体育館（参加者1人）

### 総務文教・産業厚生常任委員会合同

#### ●移住者に対する地域コミュニティの案内について

移住者に対し、行政区等の地域コミュニティを案内する仕組みを検討してほしい。

# 株式会社 JERAへの 合同要望活動

## 要望活動

広野町と広野町議会は10月28日（火）、株式会社JERA本社を訪問し、要望活動を実施しました。令和5年10月に広野火力発電所の1号機、3号機、4号機の廃止が決定され、令和7年9月に2号機についても廃止が決定されたことを受けて、廃止ユニットの跡地活用について、新たなエネルギー拠点となる構想の確立など、未来のエネルギー社会に向けて、広野町と共生の歩みを進めていただくよう要望しました。



森崎常務執行役員への要望書手交



要望活動の様子

## 要望事項

- 広野火力発電所1号機から4号機の跡地活用を重要案件事項と位置付け、スピード感を持って御検討いただきたい。
- 跡地活用については、使用する燃料や再生可能エネルギーとの組み合わせなど、あらゆる可能性を追求した発電事業を中心に、新たなエネルギー拠点となる構想を確立していただきたい。
- 発電設備の撤去については、地元の意見をよく聴いて御対応いただきたい。

## 要望活動における議員の意見

- 平成16年4月、本町議会議員が東京電力株式会社本社を訪問し、当時の副社長と意見交換をした際に、「広野火力発電所は現在ある送電設備を効率的に利活用する上でもいつになるか分からないが、古くなったものはやめて新しいものをつくることを考えている。」との発言があった。新しい技術によるエネルギーの確立に向けた取組は広野火力発電所から始まるという構想の下に取り組んでいただきたい。（渡邊正俊議長）
- 新技術による発電事業の展開など、2050年ゼロエミッションの達成に向けて、引き続き広野町との共生の歩みをお願いしたい。（遠藤浩副議長）
- 発電設備の撤去作業については、町の活性化のため、地元企業の活用を検討していただきたい。（高木光雄議員）
- 碧南火力発電所（愛知県）のような水素やアンモニアを使った方式を検討していただきたい。（渡邊忠義議員）
- 跡地活用の方向性については、町や町民と一緒に考えて考える場をつくっていただきたい。未来への取組については、地域雇用の維持に繋がるよう配慮いただきたい。（西本久雄議員）

12月  
定例会

# こんなじとが決まりました

条例、補正予算、工事請負変更契約の締結等を審議し、全て原案のとおり可決しました。

## こども誰でも通園制度

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定を可決

子ども・子育て支援法の改正により創設された「こども誰でも通園制度」は、保育所等に通っていない0歳6か月児〜2歳児を対象とし、月一定時間までの利用可能枠の中で就労要件を問わず柔軟に利用することができる制度です。

民間事業者の事業実施については、町が認可を行うものとされていることから、施設の設備及び運営に関する最低基準を定める条例の制定について、審議を行いました。



広野こども園  
2歳児クラスの様子  
(3時のおやつタイム)

質疑

広野こども園ではどのように実施するのか？

対象者は？

門馬 まりえ 議員

どのような状況のこどもたちが対象なのか。  
一時保育との違いは何ですか。

北郷こども家庭課長

6か月から2歳のこどもで、こども園に通えていないこどもが対象です。  
一時保育事業とは保護者の疾病や介護の要件を必要としないう点異なります。

利用方法は？

西本 久雄 議員

空き定員があるかどのように確認するかなど、利用方法を伺います。

北郷こども家庭課長

まず利用登録をさせていただき、園の方でお子様の面談をさせていただき、障害や疾病の状況等を確認し、対応可能であれば利用いただく形になるかと思えます。

利用料は？

渡邊 忠義 議員

この制度の利用料は無料ですか。

北郷こども家庭課長

広野こども園で実施する際には、こども家庭庁の方針等に基づき、利用時間は月10時間、利用料は1時間300円とする予定です。

実施体制は？

西内 玄太 議員

広野こども園でこの事業を実施する際に、現状の人員と設備で対応は可能ですか。

北郷こども家庭課長

空き定員を活用して実施するため、現状の設備等で問題ありません。

# 令和7年度12月補正予算

定例会・臨時会

会計名		補正額	補正後の予算額	主な内容（一般会計）
一	般 会 計	3822万円	65億7202万円	○庁舎管理費 4572万円減
特	国民健康保険	77万円	7億3933万円	○地域脱炭素移行・再エネ推進重点対策加速化事業補助金 (二酸化炭素排出抑制対策事業) 2286万円増
別	土地開発事業	—	8398万円	
会	介護保険	611万円	6億6206万円	
計	後期高齢者医療	756万円	7729万円	
合 計		5266万円	81億3468万円	○広野小学校消火水槽設置切替工事 (新規) 1400万円

会計名		収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
事業 下 水道 会計	補 正 額	—	53万5千円	—	—
	補正後の予算額	2億3713万2千円	2億9211万9千円	3176万7千円	8596万9千円

## ラジオ受信障害対策基地局等設置工事

### 工事請負変更契約の締結を可決

難聴地区のラジオ送信所までに必要な光ファイバケーブルを整備するにあたり、電柱添架・共架申請を行ったところ、借用不可判定等の柱があり、整備ルートの変更及び新設柱の設置が必要となったことに伴い、工事請負金額が増額となりました。

工事名称 ラジオ受信障害対策基地局等設置工事

工事場所 町内一円

工 期 着工 令和6年12月16日  
完成 令和8年3月31日

契約金額 6919万円(変更前)  
9209万円(変更後)

受注者 株式会社NHKテクノロジーズ  
仙台総支社

## 質疑 事前調査での把握は?

高木 光雄 議員

飯島 総務課長

民間の電柱等へ添架が認められなかったため、新たに鋼管等の設置が必要になり変更とのことですが、設計時の事前調査等で把握できなかったのか伺います。

添架申請は、実施設計の段階では申請することが出来ない仕組みになっており、工事発注後に申請を行うことになっていません。

## 11月6日 第5回臨時会

## 狼山叶沢線(6工区)開設工事

### 工事請負変更契約の締結を可決

工事内容(掘削工、林業作業用施設盛土工、舗装工、法面整形工、管きょ工、植生基材吹付工)に変更が生じたことに伴い、工事請負金額が増額となりました。

工事名称 林専道狼山叶沢線(6工区)開設工事

工事場所 上浅見川字狼山地内

工 期 着工 令和6年8月9日  
完成 令和7年12月26日

契約金額 6908万円(変更前)  
6722万円(変更後)

受注者 株式会社五社山建設



# 報告

を報告します

● 11月14日（金）  
● 総務文教常任委員会

● 調査件名

- 広野駅周辺開発について
- 給食センターの改築について
- 所管施設の調査について(二ツ沼総合公園)  
・ 勤労者体育館 ・ 清明館

総務文教

## 広野駅周辺開発

● 駅東ニュータウン

区画の販売状況については、47区画中、売却済みの区画が1区画増え3区画が売却済みとなり、1区画が成約見込みであるとの説明を受けました。

● 駅東側産業団地

委員から区画の細分化の提案があり、区画の分筆は可能ではあるが、上下水道の工事を行う必要があることを見定め、移住定住事業との連携を併せて事業を進めていくとの回答がありました。

総務文教

## 二ツ沼総合公園

● 勤労者体育館

平成7年に県から譲渡を受け、築30年であり、町外の方々がバスケットボールで定期的に使用しているとのことでした。

● 環境整備

両施設共に、指定管理者と連携を取り、利用しやすい環境整備を行っていただくよう要請しました。

● 清明館

平成11年度に文化交流推進施設として整備

総務文教

## 給食センターの建設

● 建設工事

給食センターの改築については、10月末に無事完成したとの説明を受けました。

● 試食会  
3月16日以降に予定

● 試食会

3月16日以降に予定

の移動作業、旧給食センターの解体工事等が年度内の予定で行われるとの説明を受けました。



建設工事が完成した給食センター



1階 調理室



2階 廊下(展示スペース)

11月17日（月）  
産業厚生常任委員会

調査件名

- 空き家対策について
- 林業専用道整備事業（狼山叶沢線）について

# 委員会

## 各常任委員会の活動状況

産業厚生

### 空き家対策

● 実施体制構築

令和7年3月に空家等及び特定空家等の適正管理に関する条例を制定したことに伴い、令和7年度は庁内関係課を構成員とする特定空家等認定審査会の設置、特定空家等除去に係る支援制度の確立、土業や建設業などの民間有識者団体への協力依頼など、空き家対策に取り組む体制構築を進めるとともに、令和8年から令和12年までの5か年の空家等対策計画を作成していることとした。

● 対策手順

過去に行った調査の情報・水道の利用状況・税情報・高齢者福祉等をもとにした現地調査、所有者の意向調査を行った後、空き家の台帳及び個別計画を作成し、特定空家等認定審査会で空き家の認定・措置について協議を行うこととした。

● 人員配置

10月20日から22日までの日程で委員会視察研修を行った静岡県掛川市と神奈川県真鶴町の事例も踏まえ、空き家対策は多岐の分野にわたることから、職員が兼務で全てをこなすのは難しいと思われる。空き家の数が多い場合は専従職員の配置も検討するよう要請しました。

### 特定空家

次のような状態の空家

- ・ 倒壊等著しく保安上危険な状態
- ・ 著しく衛生上有害となるおそれのある状態
- ・ 適切に管理が行われず、著しく景観を損なっている状態
- ・ 周辺的生活環境の保全を図るため放置することが不適切な状態

### 管理不全空家

適切な管理が行われていないことによりそのまま放置すれば特定空家に該当することとなるおそれのある状態の空家

産業厚生

### 林 専用道狼山叶沢線

● 整備状況

5工区については、令和7年9月末で工事が完了したとのことでした。

6工区については、11月14日現在の進捗率は90%で、11月末で工事が完了する予定とのことでした。

7工区については、令和7年9月に着工し、11月14日現在の進捗率は8%で、令和8年3月までの完了は難しく、繰越の協議を県と進めていくとのことでした。



現場内に野積みされた木

# 特別委員会報告

10月24日（金）

政治倫理条例に関する調査特別委員会

調査件名 ● 広野町議会政治倫理条例に関する調査について

## 特別 議 会政治倫理条例

### ● 協議内容

先進町の条例内容を参考に、条例の枠組みと必要項目について様々に協議を行った結果、第1条（目的）・第2条（議員の責務）・第3条（町民の役割）・第4条（政治倫理基準）・第5条（請負契約等及び指定管理者に関する遵守事項）・第6条（審査の請求）・第7条（委員会の設置及び運営）・第8条（対象議員の義務）・第9条（委員会の審査結果）・第10条（対象議員及び議会の措置）・第11条（請求による説明会）・第12条（委任）・附則からなる政治倫理条例の骨格素案を決定しました。

### ● 今後の予定

政治倫理条例に係る「ハラスメントの防止に関する条例」や「政治倫理条例の委任規程」についても整備の必要性があると結論付け、今後の調査で協議していくことに決しました。



特別委員会の様子

# 総務文教・産業厚生常任委員会合同視察研修

12月23日（火）～12月24日（水）

視察先 岩手県葛巻町

研修内容 第三セクターによる地域振興について

### ● 株式会社岩手くずまき

ワイン

酪農に続く新たな地域活性化事業として「山ぶどう」に注目し、昭和61年に会社を設立、ワインの醸造に努めてきたとのことで、「山ぶどう」はもとより「ぶどう全般」「りんご」「ブルーベリー」「さるなし」など、県内

外から原料となる果実を調達、様々な味わいのワインを提供するとともに、各地の特産品開発にも寄与しているとのことでした。

利益率が高い直売による販売の拡大、地元産原料の増量に向けた生産者の機運醸成を図っているとのことでした。

### ● 一般社団法人葛巻町畜産開発公社

畜産開発公社

北上山系開発事業で整備された公共牧場の管理運営、酪農家から仔牛を預かり育て返す預託事業など、酪農振興の中枢地として昭和51年に会社を設立し、当初は町内酪農家の仔牛だけ預かっていましたが、現在は関東から約1300頭の仔牛を預かっているとのことでした。



ワインジュース工場

畜産部門のほか、「牛乳」「ヨーグルト」「チーズ」などの乳製品製造・販売部門、「レストラン」「体験牧場」「新エネルギー導入」などの交流製造部門など様々な事業を展開し、経営基盤の強化を図っているとのことでした。

# 産業厚生常任委員会視察研修

10月20日（月）～10月22日（水）

視察先 神奈川県真鶴町・静岡県掛川市

研修内容 空き家対策について

## 神奈川県真鶴町

### ●空き家の現状

平成30年で568件あり、その中で特定空き家の候補が150件位となっており、現在ではさらに増えているとのこと、令和10年の空き家対策計画の見直しの際、改めて調査をする考えとのことでした。

### ●空き家バンク

運営は、町に住む奥様方達、子育てをしているお母様達で組織されている未来塾に委託し取り組んできたとのこと、未来塾のメンバーは住民との付き合いの中で得られた空き家の情報や町の情報などをSNSなどで発信しているとのことでした。

空き家について相談があった場合は、内覧までは町の担当者が実施しますが、それ以降のことは不動産業者や未来塾に照会をかけた対応してもらっているとのことでした。

### ●空き家対策等支援制度

真鶴町では、町が変化することを望まず、昔から連綿と引き継がれてきていることをそのまま後世に真鶴らしさを引き継いでいくことを重視しており、空き家を求める方、移住される方は真鶴町の良さを残そうとする美の基準を求めて来ている方が多いとのこと、あえて支援は実施していないとのことでした。



視察研修の様子（神奈川県真鶴町）

## 静岡県掛川市

### ●空き家の現状

空き家率は17%で県内では10番目に多い状況となっており、今年度は（株）ゼンリンと委託契約し、住戸、住宅に限らず、事務所や店舗等全てを調査し、ランクを付けて、特に活用できる空き家に対しては、積極的に市からアプローチをしていくという目的を持っているとのことでした。

託し、相談窓口、空き家バンク、危険な空き家の解体を所有者に働きかける事業を行ってもらい、ワンストップで対応できる組織体制としているとのことでした。

### ●空き家対策等支援制度

今年度、空き家対策の目玉事業として空き家活用モデル事業を展開しており、市内の空き家を改修し、地域活性化に貢献する施設を設置運営する事業者を募集し、対象経費を補助するものであり、対象経費の3分の2（限度額1千万円）を補助する形で募集をして、4件採択してきたとのことでした。

### ●空き家バンク

一級建築士、司法書士、宅地建物取引士等の資格を持った専門家組織のNPO法人掛川ランドバンクと平成30年2月に空き家対策に関する協定を締結、空き家等適正管理マネジメント促進事業を委

# 6人の議員が 町政を問う

## 渡邊 忠義 P11

- 今年度の総合健診の取り組みについて
- 広野健康づくり計画及び中間評価の取り組みについて
- 全国高等学校総合体育大会サッカー競技の今年度の宿泊利用の実績について

## 門馬 まりえ P12

- 広野火力発電所の新たな展望について

## 高木 光雄 P13

- 職員の業務効率化・意欲向上について
- 町民との対話と若者の意見を反映する仕組みについて
- 企業誘致について
- 町民の融和と選挙後のまちづくりについて

## 遠藤 浩 P14

- 町長が公言された公約と重点政策等について

## 西本 久雄 P15

- 広野火力発電所と町の経済の安定性について
- 人事の公平性・透明性と組織風土改革について
- 前町政からの事業の継承と見直しについて
- 町づくり・都市基盤・産業多角化について

## 西内 玄太 P16

- 委託費、指定管理料等の適正性について
- 20代の住民への独自減税について

一般質問は、行政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、説明を求めたり所信を問いただすものです。

# 追跡 レポート

## あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか、どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

令和7年9月定例会 一般質問

西内 玄太 議員

### 第35回広野町民号の契約手続、 監査委員による監査の実施は？

契約の準備行為として、契約前（前年度）に事業者チラシを作成させるのは会計年度独立の原則の観点からも法律違反の可能性があると考えます。

監査委員による監査を実施していただけますか。

### 監査委員への説明、指導を 仰ぐことを実施します。

監査委員への説明、指導を仰ぐことを実施していきます。

監査をいただいて、対応に当たっていきたいと思います。

### 監査委員の調査が実施されました。

#### 令和7年第4回定例会監査委員報告

令和6年度3月中に町が運営する事業者名を入れて町民号案内のチラシを発行したのですが、その行為自体に違法性はありませんが、契約の予約状態とはなっていないものの、年度が明けて正式に相手方と契約に至らないかもしれないリスクを背負うこととなり、事務手続きとしては合理的ではなかったと思われます。

町執行部は事業実施までの行程をしっかりと検討し、単年度予算の執行という原則のもと、町民に誤解や疑念を抱かれることの無いよう、慎重に取り組んでいただくことを求めます。



わたなべ ただよし  
**渡邊 忠義** 議員

総合健診

受診者等の実績は？

町長／734人が受診

**渡邊**：健診の受診者は何人いましたか。

町長：受診者数は、743人です。

**渡邊**：未受診者は何人いましたか。

町長：未受診者数は830人です。

**渡邊**：未受診者が受診しなかった理由は何ですか。

町長：すでに疾病により通院されている方などが、受診していないことの主な理由となります。

**渡邊**：特定保健指導の対象者は何人いましたか。

町長：37人です。

**渡邊**：健診結果説明会の相談者は何人いましたか。

町長：相談者は25人です。

健康づくり計画

中間評価の取り組みは？

町長／各目標ごとに実績算出

**渡邊**：健康づくり計画は、2019～2028年度までが期間となつています。実績値はどうなっていますか。

町長：重点目標「成人の肥満を減らす」については、男性のBMI 25以上の人の割合が28年目標値20%に対し、24年実績値は31・9%です。

重点目標「親子で規則正しい生活習慣を身につける」については、朝食を欠食する小中学生の割合で28年目標値0%に対し、24年実績値は2・8%です。

その他基本目標では、24年実績値で、3食きちんと食べるようにしている人の割合が目標50%に対し93・9%、ひろの健康ポイント利用者が目標300件に対し、76件、運動を心がけている人の割合が目標40%に対して63・8%、睡眠が十分にとれていない人の割合が目標値23%に対し28・1%となっています。

高校サッカー

宿泊施設の利用実績は？

町長／2308人が利用

**渡邊**：選手や保護者等で町の宿泊施設を利用された方の人数と件数を伺います。

町長：出場選手とチーム関係者の町内の宿泊施設利用者数は2308人で、町内の宿泊施設を利用した軒数は11施設、町内の施設を利用した出場校は18校です。

**渡邊**：宿泊をキャンセルされた事例がありましたか。

町長：トーナメント戦敗退と同時に宿泊予約がキャンセルとなるため、約半数近くのキャンセルが発生しています。

なお、敗退した出場校同士が練習試合や交流試合を行う「トゥモローマッチ」の企画運営などが行われ、予約キャンセルの軽減に取り組んでいます。

**渡邊**：宿泊施設事業者と町は、今年度の反省や来年度に向けた検討会を開催する予定はありますか。

町長：町内宿泊施設事業者より要望があれば、県及び高校総体サッカー競技男子福島実行委員会との連携により検討会の開催について協議を進めてまいります。



もんま  
門馬 まりえ 議員

## 広野火力

### 発電所の新たな展望は？

#### 町長／事業継続を積極的に求める

**門馬**：町長は今回の選挙戦を通しJERA広野火力発電所の存続が大きな課題であり、国や事業者に対し存続堅持できるように提案していくと言っております。

前町長と議会はJERAに対し、合同要望を通して、廃止となる1から4号機の跡地利用の検討を強く求めてきました。また、前町長は2年前の廃止措置に至る以前より、情熱

を持って広大な敷地と港湾、既存の送電インフラ、そして長年にわたり培ってきたエネルギー関連技術、人材の集積等の広野火力発電所が持つ強みを活かした新たなエネルギー拠点への転換を求めてこられました。

このような経緯の中で町長は広野火力を事業者とどのように進めていく考えなのか伺います。

**町長**：町のリーダーである町長は、自分の任期のみならず、町勢振興計画の10年先よりさらに先の30年後、50年後を見据えて長期的かつ明確なビジョンを持ち、「町民を幸せにする」ために、そのビジョンを町民にしっかりと示すべきであると考えています。

私が考える「町民の幸せ」とは、30年後も広野町が単独で行政運営を行い、町民の誰もが歴史と伝統を重んじ、豊かで誇り高い生活を送れることです。

そのためには、町の税収の多くを占めるJERA広野火力発電所の存続は最重要課題です。私は、町民の働く場を守るためにも、燃料転換、発電効率のイ

ノベーションを起こす事業の実用化など、火力発電所の事業継続について、国・県及び関係団体に対し積極的に要望活動を行う考えです。

一方、事業者に対しては、あらためて担当者間における信頼関係を構築し、普段から情報交換を行える環境を整備します。

半世紀にわたる広野火力発電所の歴史を振り返り、広野火力発電所を誘致した当時のように、町民はもとより町当局並びに町議会が一体となって地元の熱意をお伝え出来るよう、誠心誠意取り組んでまいります。



広野火力1～4号機の煙突

## 役場改革

### 業務効率化の進め方は？

町長／課・係の統廃合を検討

**高木**：町長は「改革」を掲げて当選されましたが、その実行の基礎となるのは、役場職員的能力発揮と組織力の向上に他なりません。そこで、業務の効率化をどのように進めるのか伺います。

**高木**：職員の意欲向上（やる気・働きがいの醸成）に向け、どのような施策を講じるのか伺います。

**町長**：限られた人員の中で、最大限の効果を上げることをできる行政組織の編成を目的として、課・係の統廃合を含め検討してまいります。

**町長**：30年先のスパンでまちづくりを考え、明るい未来への展望、ブランドデザインを示し、改革の先頭に立って職員を鼓舞し、信頼関係を築き、職員が同じ組織目標を共有すること、閉塞感のある役場組織を改革し、町民の皆さんから信頼され、住民ファーストの対応ができる、充実した仕事ができる環境の醸成に繋がるものと確信しています。



たかぎ 高木 みつお 光雄 議員

## 意見を町政に反映

### 対話のしくみは？

町長／方部別の住民懇談会を実施

**高木**：選挙期間中、「町民との対話を重視する」「若者が意見を言えるまちにする」と公約されました。

**高木**：若者の声をどのような仕組みで町政に反映させるのか伺います。

町民全体との対話をするような方法で進めていくのか伺います。

**町長**：町民の皆様一人ひとりの声に真摯に耳を傾け、現場の目線でアイデアを出し合い、広野町の未来を作り上げたいと考えています。

**町長**：広野町では、SNSを活用し、イベントや各種行政情報について、情報発信を行っています。

対話につきましては、地区集会所を活用した方部別の住民懇談会の方式に変更し、町民との対話に取り組んでいきます。

若者の声につきましては、町インスタグラムからのビジネスチャットや町ホームページのお問合せ専用フォームを活用し、双方向により若者の声を取り入れてまいります。

## 企業誘致

### 農業経営の安定化策は？

町長／専門部門を設置する

**高木**：農業振興につながる企業の誘致や、農業経営の安定化に取り組むと訴えています。そこで企業を誘致するにあたり、どのような対策を講じるのか伺います。

**町長**：地域の農業と結びついて新しい産業を起す企業を誘致し、基幹産業である農業を活性化させます。産業振興課内に専門部門を設置し、農家、生産者の窓口とします。

## 選挙後のまちづくり

### 町民全体の融和は？

町長／町民との対話を町政の基本に

**高木**：今回の選挙では、必ずしも政策が十分伝わらなかつた町民も含め、町民全体の融和をどのように図り、町を一つにまとめていくのか、その方針を伺います。

**町長**：町民との対話を町政の基本に据え、町民の幸せの実現に向けた施策を通し、町民全体の融和に全力で取り組んでまいります。



えんどう ひろし  
遠藤 浩 議員

公約実現

具体的なプロセスは？

町長／長期的かつ明確なビジョンを示す

**遠藤**：町長の各公約、重点政策等について、中長期に進める具体的なプロセスのどこに重点を置いておられるのか伺います。

「広野火力発電所の存続堅持」についてはいかがですか。

**町長**：古い設備を廃止するだけではなく、新しい発電所へのリプレイスやFIREIとの技術提携による新技術での燃料転換、発電効率のイノベーション

力の育成を、長期的には町全体の教育水準を地域トップレベルに引き上げることを目指し、町全体で、子どもたちが安心して学び、夢を育める広野町を築いてまいります。

**遠藤**：「企業誘致による地域活性化」についてはいかがですか。

を起こす事業の実用化など、現在地での事業継続について、国及び事業者に対し積極的に要望活動を行い、広野火力発電所の存続堅持に向けて邁進します。

**遠藤**：「町内小・中・高校を地域トップ校へ」についてはいかがですか。

**町長**：教育環境を整えることで、短期的には基礎学力の底上げを、中期的には意欲と人間

直接的な窓口となって、企画立案から事業の創設に向けて着手いたします。

**遠藤**：町長が重点を置く政策が町民にもたらす「福祉の還元」について伺います。

「特色ある教育の推進」についてはいかがですか。

**町長**：地域社会全体で子どもを育む環境を整備することにより、安心して子育てできる環境や多世代交流の促進、地域経済の活性化を通じて町民全体の暮らしやすさと持続的な福祉の向上につなげていきます。

**遠藤**：「健康な町づくりの実行」についてはいかがですか。

加えて、「ふるさと納税」を活用した寄附収入の拡大を図るべく返礼品として、地域に誇れる町の特産品開発を進めるため、産業振興課内に専門部門を設置し、農家、生産者の

**町長**：子どもから高齢者が持続可能な健康づくりを果たすため、「家庭」及び「地域」における自主的な健康づくりと「行政」「医療・介護・福祉関係機関」

の活発な保健医療活動等による予防に重点を置いた取り組みの「積み重ね」を推進して、健康長寿の延伸に結実するよう、町民が幸せで、豊かな生活を送れるまちを目指します。

**遠藤**：「ふるさと納税を活用した産業の振興」についてはいかがですか。

**町長**：地域産品の付加価値を高め、持続的な産業基盤の構築を促進し、地域の特性に応じた効果的な施策を展開し、本町の魅力発信、地元特産品のPR並びに販路拡大による地域経済の活性化を図って

いきます。

**遠藤**：町長は、「職員意識改革」、「役場庁舎の環境改善」についても公言されており、具体的な取り組みについて伺います。

**町長**：私自身が改革の先頭に立って職員を鼓舞し、元職員という強みを生かしながら、信頼関係を築くことで一人ひとりのやる気を引き出していきます。

このことが、閉塞感のある役場組織を改革し、風通しの良い、元氣あふれる職場に生まれ変わらせ、町民の皆さんから信頼され、住民ファーストの対応ができる充実した仕事ができる環境醸成に繋がります。

## 経済ビジョン

### 火力後を見据えた町の将来は？

#### 町長／火力継続と産業多角化推進

**西本**：広野火力発電所は、古くなった設備の影響で多くの号機がすでに止まり、今後すべて廃止される予定です。跡地の使い道も、まだはっきり示されていません。

こうした状況の中で、町長が言う「火力発電所の存続を改善する」とは、具体的に何をすることなのか。

また将来、税収や雇  
用が減る可能性を踏ま  
え、発電所に頼りきら



にしもと ひさお  
**西本 久雄** 議員

ない町づくりをどう進めるのか伺います。

**町長**：町が将来も続いていくためには、火力発電所と雇用をできる限り守ることが大切だと考えています。

そのため、古い設備を新しくすることや、新しい技術を使った発電への転換を国や事業者に働きかけます。

一方で、発電所だけに頼らず、企業誘致や農業と結びついた新しい産業づくり、特産品開発やふるさと納税の活用などにより、安定した町の収入と仕事を増やしていきます。

## 行政改革

### 公平な人事と組織改革は？

#### 町長／信頼重なる役場づくり

**西本**：町長が掲げる「庁舎内の風通しを良くする」とは、職員が自由に意見を言え、公平で分かりやすい人事や評価が行われる役場をつくることだと考え

ます。

一方で、副町長や第三セクターのトップなど重要な役職が、特定の人に偏って選ばれると、町政への信頼を損ねるおそれがあります。

そこで、役場のどこに課題があると認識しているのか、組織をどう改革するのか、人事の決め方をどのように透明にするのか、さらにそれが町民サービスにどう反映されるのか伺います。

**町長**：これまでの町政では、将来の見通しが十分に示されず、上から決めるやり方が続いたことで、役場に閉塞感が生まれたと感じています。

今後は町長自らが先頭に立ち、職員と信頼関係を築き、やる気を引き出すことで、風通しの良い役場を目指します。

三役や第三セクターの代表は、法律や定められた手続きに基づき、役割にふさわしい人材を選任しており、これらの取り組みが町民サービスの向上と、将来にわたる町の存続につながると考えています。

## 事業計画

### 継承と見直しの判断は？

#### 町長／計画重視で事業再点検

**西本**：前町政から、どの事業を続け、どの事業を見直すのか、その判断基準は何ですか。

見直しを行う場合、町民や議会、関係団体にどう説明し、理解を得ていくのか伺います。

**町長**：事業の継続や見直しは町勢振興計画や財政見直しを基に検証して判断します。

防災の駅整備事業は見直す考えで、見直す際は議会や住民懇談会で丁寧に説明します。

## まちづくり

### 10年後の将来像は？

#### 町長／農業と連動した企業誘致

**西本**：復興後のまちづくりとして、駅周辺や商店街、道路整備の進め方はどう考えますか。

企業誘致と農業振興をどう両立させ、10年後の広野町をどう描いているのか伺います。

**町長**：整備事業は時期を見極め総合的に進め、企業誘致は農業と連動させ、特産品開発や担い手確保を促進、火力発電を基盤に、子育て支援と雇用創出で持続する町を目指します。



にしうち げんた 議員  
西内 玄太

委託・指定管理

費用の適正性確保を！

町長／対応を行っていく

西内：物価、人件費等が高騰していますが、町発注の委託費や指定管理料の適正性を確保するため、仕様を再度精査し、複数社から見積取等を行う考えはあるか伺います。

町長：町発注の委託費や指定管理料の適正性を確保するため、設計書及び仕様書作成において、社会福祉施設の指定管理を除き、複数社から見積書を徴取する対応を行っていきま



NPO法人広野みかんクラブが管理する中央体育館



(株) 広野町振興公社が管理する二ツ沼総合公園

若年層支援

独自の減税は可能か？

町長／住民税で一部対象は不可

西内：人口減少、少子化は変わらず当町の課題ですが、今後の若年人口の流出、移住定住事業の促進のため、若年世代の住民に対して独自の減税措置を行うことはできるか伺います。

町長：20代の住民を対象とした減税措置について、町税のうち固定資産税は所有者、軽自動車税は所有者または使用者、国民健康保険税は加入者がいる世帯の世帯主と対象者が限定的であり、より多くの若年世代の住民を対象とすることができないものとして住民税減税が考えられますが、地方税法の規定により全ての課税対象者に対して同じ税率で課税しなければならぬことから、一部の課税対象者のみを減税することはできません。

# 議案等の審議結果

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 病：病気等 退：退席 除：除斥 無：無記名投票  
 ※議長は採決に加わりません。

## 令和7年12月 第4回定例会

審議結果

議案等番号	件名	議決月日	出席者数	表決者数	賛成	反対	議決結果	議員名(議席番号順)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
								西本久雄	渡邊忠義	高木光雄	渡邊正俊	西内玄太	北郷伯弘	遠藤浩	門馬まりえ
議案第66号	広野町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	12/19	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	「こども誰でも通園制度」を実施するにあたり、設備及び運営に関する基準を定めるため、児童福祉法の規定に基づき、本条例を制定するもの。														
議案第67号	広野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	12/19	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	令和7年度福島県人事委員会勧告に伴う福島県議会議員に係る期末手当の支給割合の改正に合わせ、本条例について所要の改正をするもの。														
議案第68号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	12/19	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	令和7年度福島県人事委員会勧告に伴う福島県特別職に係る期末手当の支給割合の改正に合わせ、本条例について所要の改正をするもの。														
議案第69号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	12/19	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	令和7年度福島県人事委員会勧告に基づく職員の給料月額、通勤手当、期末手当及び勤勉手当の改定に関し、本条例について所要の改正をするもの。														
議案第70号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	12/19	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	令和7年度福島県人事委員会勧告に基づく一般職員の給料月額の改正に合わせ、本条例について所要の改正をするもの。														
議案第71号	大字及び字の区域変更について	12/19	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	圃場整備事業である復興基盤総合整備事業において、換地計画を定めるに当たり、道路や水路の付け替え及び新設が行われることに伴い、大字及び字の変更をするもの。														
議案第72号	工事請負契約の変更契約について(広野町ラジオ受信障害対策基地局等設置工事)	12/19	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	本工事(予定価格5000万円以上)の請負金額の変更による変更契約を締結するため、議会の議決を求めるもの。														
議案第73号	令和7年度広野町一般会計補正予算(第4号)	12/19	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ3822万円を増額するもの。主な内容は、財産管理費の減額計上、地域振興対策費の増額計上のほか、福島県人事委員会勧告に基づく人件費の増額計上。														
議案第74号	令和7年度広野町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	12/19	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ77万円を増額するもの。主な内容は、償還金及び還付加算金のほか、福島県人事委員会勧告に基づく人件費の増額計上。														
議案第75号	令和7年度広野町介護保険特別会計補正予算(第3号)	12/19	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ611万円を増額するもの。主な内容は、一般管理費、高額介護サービス等費、一般会計繰出金のほか、福島県人事委員会勧告に基づく人件費の増額計上。														

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 病：病気等 退：退席 除：除斥 無：無記名投票  
 ※議長は採決に加わりません。

## 令和7年12月 第4回定例会

議案等番号	件名	議決 月日	出 席 者 数	表 決 者 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	議 員 名 (議席番号順)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
								西 本 久 雄	渡 邊 忠 義	高 木 光 雄	渡 邊 正 俊	西 内 玄 太	北 郷 伯 弘	遠 藤 浩	門 馬 ま り え
議案 第76号	令和7年度広野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	12/19	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ756万円を増額するもの。主な内容は、後期高齢者医療広域連合納付金、一般会計繰出金の増額計上。														
議案 第77号	令和7年度広野町下水道事業会計補正予算(第2号)	12/19	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳出について53万円を増額するもの。主な内容は、福島県人事委員会勧告に基づく人件費の増額計上。														

## 令和7年11月 第5回臨時会

議案等番号	件名	議決 月日	出 席 者 数	表 決 者 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	議 員 名 (議席番号順)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
								西 本 久 雄	渡 邊 忠 義	高 木 光 雄	渡 邊 正 俊	西 内 玄 太	北 郷 伯 弘	遠 藤 浩	門 馬 ま り え
議案 第65号	工事請負契約の変更契約について (林専道狼山叶沢線(6工区)開設工事)	11/6	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	本工事(予定価格5000万円以上)の請負金額の変更による変更契約を締結するため、議会の議決を求めるもの。														

## 2町の議会議員が視察研修にて来庁！

11月27日、山形県金山町議会の議会運営委員会及び議会活性化・DX推進特別委員会の皆様が来庁しました。

広野町議会の定数8人による議会運営のメリット及びデメリット、適正な議員報酬の考え方について説明するとともに、意見交換を行いました。



金山町議会議員の皆様との集合写真

12月10日、宮城県七ヶ浜町議会の広報広聴常任委員会広聴分科会の皆様が来庁しました。

広野町議会の「町民と議員との意見交換会」の開催方法、意見の集約、執行部への提案、町民への報告などについて説明するとともに、意見交換を行いました。



七ヶ浜町議会議員の皆様との集合写真

# 会議等出欠状況

議会の議長や、各委員長等から招集通知があり、開催された会議や研修の出欠状況です。

このほかにも、町が主催する式典や小・中学校の発表会、広域圏組合や双葉地方町村議会議長会が主催する会議にも出席しています。

令和7年10月1日～12月31日

○:出席 ×:欠席 △:遅刻、早退 -:員外 弔:弔事 研:研修 公:公務 病:病気等

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8
				西本 久雄	渡邊 忠義	高木 光雄	渡邊 正俊	西内 玄太	北郷 伯弘	遠藤 浩	門馬 まりえ
出席回数(回)				15	16	16	20	13	17	17	14
会議回数(回)				15	16	16	20	16	17	17	14
10	9	木	広報委員会	○	-	○	○	○	○	○	-
	20	月	町村議会議員研修会(県町村議会議長会主催)	○	-	-	-	○	-	-	○
	20	月	産業厚生常任委員会視察研修(1日目)	-	○	○	○	-	○	○	-
	21	火	産業厚生常任委員会視察研修(2日目)	-	○	○	○	-	○	○	-
	22	水	産業厚生常任委員会視察研修(3日目)	-	○	○	○	-	○	○	-
	23	木	広報委員会	○	-	-	-	○	-	-	-
	24	金	政治倫理条例に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	火	広野町・議会合同要望活動(株式会社JERA)	○	○	○	○	○	○	○	○
11	6	木	令和7年第5回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	水	町村議会議長全国大会/町村議会議長全国研修会	-	-	-	○	-	-	-	-
	13	木	双葉地方町村議会議長視察研修会	-	-	-	○	-	-	-	-
	14	金	総務文教常任委員会	○	-	-	○	○	-	-	○
	17	月	産業厚生常任委員会	-	○	○	○	-	○	○	-
	27	木	山形県金山町議会視察研修(受入)	○	○	○	○	病	○	○	○
	28	金	町民と議員との意見交換会(ひろの未来館)	○	○	○	○	病	○	○	○
	29	土	町民と議員との意見交換会(中央体育館)	○	○	○	○	病	○	○	○
12	2	火	議会運営委員会	-	○	-	○	○	○	○	○
	10	水	宮城県七ヶ浜町議会視察研修(受入)	○	○	○	○	○	○	○	○
	18	木	令和7年第4回定例会(1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	19	金	令和7年第4回定例会(2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	23	火	総務文教・産業厚生常任委員会合同視察研修(1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	水	総務文教・産業厚生常任委員会合同視察研修(2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○

## 議会の様子を見てみませんか？

### 次回の定例会は3月です

議場傍聴席入口にある受付票に住所・氏名をご記入いただくだけで、議会を傍聴できます。

また、定例会の録画映像をインターネットでも配信しています。  
広野町ホームページまたは、右の二次元コードからアクセスできますので、ぜひご視聴ください。

●議会映像ホームページ <https://hirono.k-quick.net/>





空き家問題

空き家について思うことは？



鈴木 和朋さん  
(上浅見川)

適正な管理が行われていない空き家は、防災・衛生・景観等の面で生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあることから、町では対策に向けた条例制定や体制構築が進められています。年々増加傾向にある空き家について、思うことをお聞きしました。

私の近所でも空き家があります。身内の方が時折見に来ていますし、近所の仲が良いので、車や人が来ると、誰が来ていたのかを話したり、物音がする窓から見たりしている。不審者などの監視はできています。

少し離れた空き家は竹が伸びて屋根を突き出している状態で、火災や不審者など心配な面もあり、どうしたら良いかと思うことがあります。



根本 耕一さん  
(上浅見川)

空き家問題は金銭問題と考えています。

家屋の取り壊しには数百万円の費用がかかり、その後宅地の特例措置が解除され、納税額が3倍になるとのこと。

結果として、その場所に建て替える以外には、放置されることが多いのではないかと思います。産業廃棄物処理費用の一部負担などが必要ではないかと思えます。

編集後記

立春の候、皆さまのご健勝をお祈り致します。

令和7年12月18日及び19日の2日間、第4回定例会が開催されました。

小松和真氏が昨年11月の町長選挙で初当選、本定例会に登壇し力強い所信表明をされました。

傍聴者も多く町民の関心が高まりました。

各議員からの一般質問は、選挙公約の実現方法を問う質疑が主でした。

町長は元広野町役場職員の経験を生かし、着実に進めると答弁されました。

編集にあたり委員

他議員の協力を得て行いました。

今年も皆さまへ諮れる議会だよりを届けられるよう精進してまいります。

(高木光雄)



先駆けて咲くロウバイ

発行・編集責任者

議長 渡邊正俊

広報委員会

委員長 西内玄太

副委員長 西本久雄

委員 遠藤 浩

委員 北郷伯弘

委員 高木光雄

次の定例会は3月です

